

testo easyheat ソフトウェア

取扱説明書



はじめに

本ソフトウェアは、testo 300、testo 320 および testo 330等の各種計測器をPCと 接続して、計測器の設定や計測データの保存、解析などを行うためのソフトウェアです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解くだ さい。ご不明な点、あるいは問題などが発生した場合は、テストー社サービスセンターに お問い合わせください。本説明書は、いつでもすぐに見ることができるようお手元におい てお使いください。

本ソフトウェアの機能は、接続する計測器の機種やカントリー・バージョン、接続台数、 ライセンスの種類などによって異なりますので、ご注意ください。

説明書について

記号	意味
	このマークが付いた説明は、取り扱い上の注意や重要事項に関する情報です。
<u> </u>	
「文字」	メニュー項目やフォルダ名を表します。
$\overline{\mathbf{N}}$	マウス・カーソルを目的の位置まで動かし 左ボタンをクリックする 、を表します。*
	マウス・カーソルを目的の位置まで動かし 右ボタンをクリックする 、を表します。*

*標準的なマウス設定の場合(左ボタン:選択、右ボタン:ショートカット・メニューを表示)

本説明書の一部または全部をテストー社の事前の許可なしで、転載、複製することを禁じます。

本説明書の内容は、機能向上のため予告なく変更することがあります。

Microsoft、Windows、Excel、インターネット・エクスプローラ等は、米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標です。

Intel、Pentium 等は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の登録商標または製品名はそれぞれの所有者の財産です。

使用許諾契約書

この使用許諾契約書は、testo SE & Co. KGaA (以下、Testo社)とお客様との間に締結 される、法的に拘束力を持つ契約書です。

お客様あるいはお客様の委任を受けた第三者が、封印された本ソフトウェアCD-ROM パッケージを開封すると、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたことに なります。本契約書の条項に同意されない場合は、未開封のソフトウェア・パッケージを、 付属する説明書やその他の文書、ボックス等と共に、販売元に速やかにご返品ください。 ご購入代金全額をお返しいたします。

ライセンスの許諾

お客様は本ソフトウェア製品のコピー1部を、コンピュータ1台にインストールして使用する ことができます。複数のコンピュータで同時に使用することはできません。複数ライセンス 契約の場合、お客様は許諾されたライセンス数を限度として本ソフトウェアのコピーを保持、 使用することができます。その場合、本ソフトウェアがメモリ、すなわちRAMにロードされ たり、あるいはハードディスク等に保存されている場合、本ソフトウェアを使用している ものとみなされます。

例外は、他のコンピュータへの配信のみを目的としたネットワーク・サーバにインストール されたソフトウェア・コピーであり、この場合使用しているとはみなされません。本ソフト ウェアの使用数が、お客様に許諾されているライセンス数を超えるおそれがある場合、 お客様は、ライセンス数の範囲内にソフトウェア使用数がおさまるよう、客観的に妥当な 手段をとるものとします。

著作権

本ソフトウェアは、著作権法および著作権に関する条約、その他の知的財産権に関する 法律によって保護されています。本ソフトウェアおよびその説明書、その他の付属文書を 複製することは禁止されています。本ソフトウェアの再ライセンス許諾、レンタル、リースは 行えません。ソフトウェアのバックアップ・コピーが提供されない場合、お客様は、バック アップ・コピーを1部に限り作成することができます。あるいは、オリジナルをバックアップ 目的以外に使用しないという条件で、ハードディスク上にソフトウェアを転送、保持する ことができます。リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルは認められません。 お客様あるいはお客様の委任を受けた第三者が、著作権保護に関する権利を侵害した 場合、Testo社より訴追されるおそれがあります。

保証の限定

Testo社は本ソフトウェアが付属文書に従って動作することを、購入日から90日間、ある いはお客様が購入された国の法律に別段の定めがある場合は、その最短期間について 保証します。Testo社は、本ソフトウェアが中断、あるいは誤りなく動作することを一切保証 いたしません。本ソフトウェアが付属文書に従って実質的に動作しない場合、保証期間内に 限り、お客様は不具合の状況を記述した書面を添付してTesto社にソフトウェアを返却 する権利を有しています。その場合、Testo社はその判断により、合理的な期間内にソフト ウェアを交換するか、あるいは何らかの理由で交換が不可能な場合は、購入代金を全額 返還するか、のいずれかで対応するものとします。

本保証規定に規定されていない、ソフトウェア、付属するマニュアル、その他文書類に関する 保証は一切いたしません。

また、Testo社とTesto製品販売業者のいずれも、Testo製品の使用中に生じた損害、あるいは使用不能により生じた損害について、いかなる責任も負わないものとします。Testo社等が損害の可能性について知らされていた場合も同様です。但し、Testo社の故意あるいは重大な過失により生じた損害は除外されます。また、特別な約定がある場合も除外されます。

目次

はじる	めに			
使用詞	許諾契	約書		
目次				5
1.	機能概	要		
2.	ソフト	ウェアの	使用法	9
	2.1	システム	↘要件	9
	2.2	ソフトウ	フェアのイン	·ストール9
	2.3	ソフトウ	フェアの起重	b9
	2.4	接続方〉	去	
3.	操作…			
4.	操作手	順の概	要	
5.	メニュ	- (共通)	
	5.1	一般		
		5.1.1	戻る	
		5.1.2	ホーム	
		5.1.3	終了	
	5.2	顧客		
		5.2.1	顧客の検索	索
		5.2.2	顧客情報(の詳細16
			5.2.2.1	詳細情報17
			5.2.2.2	ロケーション・リスト17
			5.2.2.3	業務18
		5.2.3	顧客情報(の変更18
		5.2.4	新規顧客	の追加18
		5.2.5	顧客情報(のインポート 19
	5.3	ロケージ	ション	
		5.3.1	ロケーショ	ョン情報の詳細20
			5.3.1.1	ロケーション、顧客、設備、ボイラー、炉
			5.3.1.2	計測值21
			5.3.1.3	業務21
		5.3.2	ロケーショ	ョン情報の変更
		5.3.3	新規ロケ-	–ションの追加22
		5.3.4	バーコート	、の印刷

5	5.4	計測値			23
		5.4.1	計測値の	検索	23
		5.4.2	計測デー	タの表示	25
			5.4.2.1	インフォメーション	25
			5.4.2.2	グラフ	25
			5.4.2.3	計測データ	26
			5.4.2.4	データ入力	27
5	5.5	業務			29
		5.5.1	業務の検	索	29
		5.5.2	業務の詳	細	30
		5.5.3	新規業務	の追加	30
5	5.6	従業員			30
		5.6.1	従業員の	検索	30
		5.6.2	従業員情	報の変更	31
		5.6.3	新規従業	員の追加	31
		5.6.4	業務リス	۲	32
5	5.7	testo 3	812-4 (日:	本では販売されていません)	32
5	5.8	testo 3	314 (日本)	では販売されていません)	32
5	.9	testo 3	320		32
		5.9.1	ロケーショ	ョンの送信	33
			5.9.1.1	PC内のロケーション	33
			5.9.1.2	計測器内のロケーション	33
		5.9.2	計測デー	タの読込	34
		5.9.3	オンライン	ン計測	34
			5.9.3.1	計測データ、パネルデータ、グラフ、排ガス・マトリックス	35
			5.9.3.2	表示項目設定	36
		5.9.4	testo 32	20のセットアップ	36
5	5.10	testo 3	324 (日本)	では販売されていません)	36
5	5.11	testo 3	300 / tes	to 330	36
		5.11.1	ロケーシ	ョンの送信	37
			5.11.1.1	PC内のロケーション	37
			5.11.1.2	計測器内のロケーション	37
		5.11.2	計測デー	タの読込	38

5.11.3 オンライン計測
5.11.3.1 計測データ、パネルデータ、グラフ、排ガス・マトリックス39
5.11.3.2 表示項目設定40
5.11.4 testo 300 / testo 330のセットアップ40
5.12 testo 380 (日本では販売されていません)40
5.13 設定
5.13.1 レポート形式の設定41
5.13.1.1 印刷用レポート形式41
5.13.1.2 データ入力用レポート形式44
5.13.2 基本設定48
5.13.2.1 計測器48
5.13.2.2 プログラム48
5.13.2.3 顧客データ
5.13.2.4 所有者情報48
5.13.2.5 カラー·スキーム
5.13.2.6 ソフトウェアの更新48
5.13.2.7 使用言語48
5.13.2.8 バックアップ49
5.13.3 インフォメーション49
5.14 データベース
5.14.1 フルバックアップ50
5.14.2 追加バックアップ50
5.14.3 データベースの復元50
5.14.4 修復と圧縮50
トラブルシューティング

6.

1. 機能概要

本ソフトウェアは、testo 300、testo 312-4、testo 314、testo 320、testo 324、testo 330および testo 380 等の各種計測器用のソフトウェアであり、 下記の機能を備えています。*

- 計測器の各種基本設定。
- 顧客、システムおよび計測データの管理。
- 計測器からのデータ・インポート、計測器へのデータ・エクスポート。
- インポートした計測データの編集、保存、印刷。
- * 日本国内では2020年1月現在、testo 312-4、testo 314、testo 324、および testo 380は取り扱っておりません。

2. ソフトウェアの使用法

2.1 システム要件

オペレーティングシステム

- Windows® 7
- Windows® 8
- Windows® 10
- その他:お問い合わせください。
- コンピュータ
- インタフェース USB 2.0以上
- Internet Explorer 5.0 SP1以上r
- ハードディスク空き容量 (min.): 150MB以上
- Microsoft[®] .Net 4 Framework: 2GB

2.2 ソフトウェアのインストール

Windows[®] 7、Windows[®] 8、Windows[®] 10の下でソフトウェアをインストール する場合は、Administrator (管理者)の権限が必要です。 本ソフトウェアをインストール後、まず最初の起動時に、ライセンス・キー入力 画面が表示されます。ライセンス・キーを入力しないと、使用期間が制限された デモ・バージョン (使用可能期間: 30日)が起動しますので、必ずライセンス・ キーを入力してくだい。

- 1. CDをドライブに挿入します。
- 2. インストレーション・プログラムが自動的にスタートしないときは:
 - ►マイコンピュータまたはWindowsのエクスプローラを開き、TestoSetup.exe ファイルをダブルクリックしてください(図) インストレーション・プログラムの指示に従って、インストレーション作業を 進めます。
- testo easyHeat ソフトウェアがインストールされました。

2.3 ソフトウェアの起動

- ▶ $\overline{@}$ → Programs → Testo → testo easyheat $\vee 7 h h r r$
- プログラムが開きます。プログラムはOSの言語に対応しています。
- ソフトウェアを初めて起動したときは、ライセンスキー入力を要求するウィンドウが表示されます。
- ライセンス・キーを入力します(ソフトウェアのCDパッケージ上に記載されています) → OK

計測器が各国別に対応・開発されているため、本説明書の内容がその まま当てはまらない場合があることをご了承ください。また、ライセンス・ キーにより使用可能となる計測器のタイプや数も異なりますので、ご注意 ください。

2.4 接続方法

testo 330

testo 330 と PC を接続するには、PC/計測器間接続ケーブル (型番: 0449 0047) が必要です。

- 1. USBケーブルを PC のUSBソケットに接続します。
- 2. USBケーブルのもう一方をtesto 330のUSBソケットに接続します。
- 3. 😈 キーを押して、計測器の電源を入れます。
- データ転送が行われている間は計測器がスレーブ・モードに切り換わります。
- この間は計測器の各種ボタンは使用できなくなります。データ転送が終わると スレーブ・モードが終了し、30秒後には各種ボタンが通常通り使用可能に なります。

testo 300 および testo 320

testo 300/testo 320と PC を接続するには、micro USBメインケーブルが 必要です。

- 1. 接続ケーブルを PC のUSBソケットに接続します。
- USBケーブルのもう一方を testo 300 または testo 320 のUSBソケットに 接続します。
- 3. 😈 キーを押して、計測器の電源を入れます。
- データ転送が行われている間は計測器がスレーブ・モードに切り換わります。
 この間は計測器の各種ボタンは使用できなくなります。データ転送が終わるとスレーブ・モードが終了し、30秒後には各種ボタンが通常通り使用可能になります。

3.



- クイック・アクセス・ツールバー:使用頻度の高いモジュールをすぐに呼び 出せます。
- 2. Testo ロゴ・マーク: ライセンス延長、バージョン情報の表示などが行えます。
- 3. リボン・バー:使用できるモジュールがグループ単位で表示されます。
 - ► モジュール・グループを表示:必要なモジュール・グループをクリック します。例:設定(図)

クイック・アクセス・ツールバーからモジュールを呼び出すことも可能です。 クイック・アクセス・ツールバーとリボン・バー上のモジュールは、同じアイコン/ 名前で表示されます。

モジュールによっては、他のモジュールで予めデータを保存したり、特定のデータを選択しないと呼び出せないものがあります。

モジュールがアクティブ化されていない場合、最も頻繁に必要なモジュール(お気に入り)を含むホームページが表示され、直接アクセスできます。

モジュールによっては複数のフォルダで構成されているものがあります(例: testo 330設定モジュール)

- ► モジュール・グループを表示:必要なモジュール・グループをクリック します。例:設定(图)
- 4. 作業領域:入力作業などを行う領域です。
- 作業領域の表示方式には、標準とフル・スクリーンの2つがあり、[F11] キーを押すことで交互に切り替えられます。

4. 操作手順の概要

本ソフトウェアの主な機能と、その操作手順の概要を示します。 ソフトウェア機能の詳細な説明は14~50ページの「5.メニュー(共通)」を参照 ください。

ソフトウェアの基本設定

- 1. 「設定」→ 🐝 基本設定
- 2. 「所有者情報」→ 所有者情報を入力または変更
- 3. 「顧客データ」→ 顧客ID設定に関する各種方式を選択
- 4. 「バックアップ」→ バックアップ方法の設定
- 変更の確定:適用(完了)

計測器 (testo 300、testo 320、testo 330) の設定

- testo 300 → 「testo 300のセットアップ」
 testo 320 → 「testo 320のセットアップ」
 testo 330 → 「testo 330のセットアップ」
- 2. 「専用プリンタ設定」→「自社データ等の入力」→ 適用

新規顧客の追加

- 1. 「顧客」→ 🦾 新規顧客の追加
- 2. 顧客情報を入力ボックスに入力 → 保存

新規ロケーションの追加

- 1. 「ロケーション」→ 🚵 新規ロケーションの追加
- ロケーション、設備、ボイラー、炉などのフォルダ中の該当ボックスに各種 データを入力 → 保存

ロケーションを計測器へ送信

- 1. 計測器 (例: testo 330) のタブを選択 → ロケーションの送信
- PC内のロケーション」フォルダの中から送信する計測サイトを選択(

 → 送信

計測の実行

▶ ロケーションを選択して、計測を行い、計測値を保存します。 詳細は testo 300、testo 320、testo 330の取扱説明書を参照ください。

計測器から計測データを読み込む

1. 計測器 (例: testo 330) のタブを選択→ 計測データの読込

2. フォルダの中から計測値を選択(複数選択可)()→ 読込

計測値の表示と印刷

- 1. 「計測値」→ 計測値の検索
- 2. 計測値の選択 → プレビュー
- 3. 計測値の印刷: レポート印刷
- 4. レポートのテンプレートを選択 → OK

5. メニュー

5.1 一般



- 5.1.1 戻る
 - ▶ 前のモジュールに戻る:「一般」→ 😋 戻る
- 5.1.2 ホーム
 - ホームページを開く:「一般」→ ▲ ホーム
 ホームページには、使用頻度の高いモジュールを表示しており、すぐに
 呼び出すことができます(お気に入り)。
- 5.1.3 終了
 - ▶ ソフトウェアの終了:「一般」→
 - 当日、データのバックアップを1回も行っていないと「データベースのバック アップ」ウィンドウが開き、次のオプション(選択肢)が表示されます:
 - ・フルバックアップを実行(推奨):データの完全なバックアップ処理が 行われます。
 - ·変更を保存:最後のバックアップ以降に加えられた変更部分のみ保存。
 - ・バックアップを行わずに終了:データのバックアップを行わずにプログ ラムを終了。
 - ▶ データバックアップの実行:オプションを選択()→ OK → OK

5.2 顧客



リボン・バーの「顧客」には、顧客の検索、顧客情報の詳細、顧客情報の変更、 新規顧客の追加、顧客情報のインポート等のサブメニューがあります。 この顧客メニューはソフトウェアの基本設定で、非表示にしてリボン・バー及び タブを消すことができます。 (48ページ、「5.13.2.2 プログラム」を参照ください)

5.2.1 顧客の検索

「顧客の検索」モジュールでは、検索条件を設定して、あるいはアルファベット 順のインデックスを使用して、顧客を検索することができます。

モジュールのオープン

▶ 「顧客」 →

顧客リスト

- A
- ▶ ボタンを押すと、各種の検索条件(基準)が表示されますので、フィールドごとに選択していきます。



- 検索条件を入力すると、例えば「名前/社名」の頭文字を入力すると、その 検索条件に合致する顧客だけが検索され、表示されます。
- 複数の検索条件を入力すると、すべての検索条件に合致する顧客を検索 できます。

顧客の選択

顧客が選択されていないと、「顧客情報の詳細」および「顧客情報の変更」 モジュールは開きません。

- ▶ 顧客を選択
- 選択した顧客が反転表示されます。

顧客情報の詳細

- ▶ 顧客を選択 → 🏯顧客情報の詳細
- 「顧客情報の詳細」モジュールが開きます。本ページの「5.2.2 顧客情報の 詳細」を参照ください。

顧客情報の変更

- ▶ 顧客を選択 → 🏭 顧客情報の変更
- 「顧客情報の変更」モジュールが開きます。18ページ、「5.2.3 顧客情報の 変更」を参照ください。

顧客の削除

- ▶ 顧客を選択 → 削除 → はい
- 顧客が削除されます。
- 顧客を削除すると、その顧客の計測サイトや計測データに関するデータが
- すべて削除されてしまいますので、ご注意ください。

新規顧客の設定

- ▶ 🟯 新規顧客の追加
- 「新規顧客の追加」モジュールが開きます。18ページ、「5.2.4 新規顧客の 追加」を参照ください。

5.2.2 顧客情報の詳細

「顧客情報の詳細」 モジュールでは、顧客の住所や使用機器などの情報を表示 することができます。

モジュールのオープン

 「顧客情報の詳細」モジュールは、「顧客の検索」モジュールにより事前に顧客が 選択されていないと開きません。15ページ、「5.2.1 顧客の検索」を参照ください。

▶ 「顧客」→ ■顧客を検索

「顧客情報の詳細」モジュールは2つの領域に分かれています。 詳細情報フォルダが上部にあり、ロケーション・リストおよび業務リストの 各フォルダが下部に配置されています。

5.2.2.1 詳細情報

詳細情報の変更

- ▶ 「変更」
- 「顧客情報の変更」モジュールが開きます。18ページ、「5.2.3 顧客情報の 変更」を参照ください。

顧客の削除

- ▶ 顧客を選択 → はい
- 顧客が削除されます。

顧客の検索

- ▶ 顧客を検索
- 「顧客の検索」モジュールが開きます。15ページ、「5.2.1 顧客の検索」を 参照ください。
- 5.2.2.2 ロケーション・リスト

ロケーションの選択

- ロケーションが選択されていないと、「ロケーション情報の詳細」および
- ■「ロケーション情報の変更」モジュールは開きません。
- ▶ ロケーションを選択
- 選択したロケーションが反転表示されます。

ロケーション情報の詳細

- ▶ ロケーションを選択 → 💼 ロケーション情報の詳細
- 20ページ、「5.3.1 ロケーション情報の詳細」を参照ください。

ロケーション情報の変更

- ▶ ロケーションを選択 → 🖕 ロケーション情報の変更
- 「ロケーション情報の変更」モジュールが開きます。22ページ、「5.3.2 ロケーション情報の変更」を参照ください。

ロケーションの削除

- ▶ ロケーションを選択 → 削除 → はい
- ロケーションが削除されます。
- ロケーションを削除すると、そのロケーションに関するすべての計測データも 削除されてしまいますので、ご注意ください。

新規ロケーションの追加

- ▶ 新規ロケーションを追加(図)
- 「ロケーション情報の追加」モジュールが開きます。22ページ、「5.3.3 新規 ロケーションの追加」を参照ください。

5.2.2.3 業務

業務の選択

業務が選択されていないと、「ロケーション情報の詳細」モジュールは開きません。

- ▶ 業務を選択
- 選択した業務が反転表示されます。

業務の詳細表示

- ▶ 業務を選択 → 表示
- 「業務の詳細表示」モジュールが開きます。30ページ、「5.5.2 業務の 詳細」を参照ください。

業務の削除

- ▶ 業務を選択 → 削除 → はい
- 業務が削除されます。

5.2.3 顧客情報の変更

「顧客情報の変更」モジュールでは、既存の顧客情報を変更することができます。

モジュールのオープン

- 「顧客情報の詳細」モジュールは、「顧客の検索」モジュールにより事前に顧客が 選択されていないと開きません。15ページ、「5.2.1 顧客の検索」を参照ください。
- ▶ 「顧客」→ 🍶 顧客情報の変更

顧客情報の変更

- ▶ 該当するボックスの顧客情報を変更入力 → 保存
- 「顧客情報の詳細」モジュールが開きます。16ページ、「5.2.2 顧客情報の 詳細」を参照ください。

5.2.4 新規顧客の追加

「新規顧客の追加」モジュールでは、新しい顧客を追加、設定することができます。

モジュールのオープン

- ▶ 「顧客」→ ▲新規顧客の追加
- ▶ 該当するボックスへ新しい顧客情報を入力 → 保存
- 「顧客情報の詳細」モジュールが開きます。16ページ、「5.2.2 顧客情報の 詳細」を参照ください。

5.2.5 顧客情報のインポート

「顧客情報のインポート」モジュールでは、既存の顧客情報を他のアプリケー ションからインポートすることができます。

モジュールのオープン

▶ 「顧客」→ 4 顧客情報のインポート

情報のインポート

情報をインポートする場合は、インポートする情報を予め以下のいずれかの フォーマットへ変換しておいてください:

- ・Unicode テキスト
- ・Microsoft® Access® データベース
- ・Microsoft[®] Excel[®] ワークシート

標準的なソフトウェア (Microsoft[®] Outlook[®]等) は、これらのいずれかを サポートします。

- 1. インポート・フォーマットのラジオ・ボタン (●) を選択 → 参照
- 2. インポートするファイルを選択します。 Access データベースをインポートする場合:
 - ▶ ユーザーIDとパスワードの入力が必要になることがあります。
- Excel ファイルの顧客情報をインポートする場合、Microsoft[®] Excel が インストールされていなければなりません。Excel 97 の XLS ファイル または Excel 2007 のXLSX ファイルが必要です。

3. 次へ >

Excel ワークシートをインポートする場合:

- ▶ ワークシートの選択 → 次へ >
- Access データベースをインポートする場合:
- ▶ テーブルの選択 → 次へ >

インポート情報の割り当て

データを読み込んだら、対応データ列を決定します。対応データ列を定めな ければインポート・データは利用できません。

テキストファイルをインポートした場合、次の操作を行い、最初の行を列見出 しに設定して、タイトル名などが転送されないようにすることができます。

▶ 1行目を列見出しにする ()

- 1. リスト・ボックスのオープン (**▼**) → ターゲット・データ・ボックスを選択
- ターゲット・データ・ボックスにインポート・データ・ボックスが割り当てられます。

- すべてのデータ・ボックスの割り当てが終わるまで、ステップ1の手順を繰り 返します。
- ■顧客IDデータ・ボックスが空白の場合は、自動的に顧客IDが割り当てられます。 ■顧客IDデータ・ボックスにデータがあったとしても、既に顧客IDが本ソフト
- ウェアにより割り当てられている場合は、インポート・データによって上書き されます。名前/会社名 [英数] データ・ボックスが空白の顧客データは インポートされません。
- 適用 → OK 「顧客の検索」モジュールが開きます。15ページ、「5.2.1 顧客の検索」を 参照ください。

5.3 ロケーション



ロケーション・メニューには、ロケーション情報の詳細、ロケーション情報の 変更、新規ロケーションの追加、バーコードの印刷などのサブメニューがあります。

5.3.1 ロケーション情報の詳細

「ロケーション情報の詳細」 モジュールでは、計測器内に保存されているシス テム・データや計測値を表示することができます。

モジュールのオープン

「顧客情報の詳細」モジュールでロケーションを選択していないと、このモジュールは開きません。16ページ、「5.2.2 顧客情報の詳細」を参照ください。

▶ ロケーションを選択 → 📩ロケーション情報の詳細

「ロケーション情報の詳細」モジュール2つはの領域に分かれています。ロ ケーション、顧客、設備、ボイラー、炉などのフォルダが上部に、測定値、業務 などのフォルダが下部に配置されています。業務フォルダは、ソフトウェアの 基本設定メニューにおいて、「業務管理」を選択していないと使用できませ ん。(設定→基本設定→プログラム)

5.3.1.1 ロケーション、顧客、設備、ボイラー、炉 ロケーション情報の詳細が表示されます。

5.3.1.2 計測値

計測値の選択

- 計測値が選択されていないと、「計測値の表示」モジュールは呼び出せ ません。
- ▶ 計測値を選択
- 選択した計測値が反転表示されます。

計測値の表示

- ▶ 計測値の選択 → 表示
- 「計測値の表示」モジュールが開きます。25ページ、「5.4.2 計測データの 表示」を参照ください。

計測値の削除

- ▶ 計測値の選択 → 削除 → はい
- 計測値が削除されます。

5.3.1.3 業務

業務の表示

- ▶ 業務の選択 → 業務の詳細
- 「業務の詳細」モジュールが開きます。30ページ、「5.5.2 業務の詳細」を 参照ください。

新規業務

- ▶ 新規業務の追加
- 「新規業務の追加」モジュールが開きます。30ページ、「5.5.3 新規業務の 追加」を参照ください。

業務の削除

- ▶ 業務の選択 → 削除 → はい
- 業務が削除されます。

5.3.2 ロケーション情報の変更

「ロケーション情報の変更」 モジュールでは、既存のロケーション情報を変更 することができます。

モジュールのオープン

- 「ロケーション情報の変更」モジュールは、「顧客情報の詳細」モジュール によりロケーションが選択されていないと開きません。16ページ、「5.2.2 顧客情報の詳細」を参照ください。
- ▶ ロケーションの選択 → 🎽ロケーション情報の変更

情報の変更

- ▶ ロケーション情報に関する変更を、該当ボックスに入力 → 保存
- 「ロケーション情報の詳細」モジュールが開きます。20ページ、「5.3.1 ロ ケーション情報の詳細」を参照ください。

項目名称の末尾に [英数] がついている項目は、計測器へ転送可能な項目です。 これらの項目は、半角英数字で入力してください。

5.3.3 新規ロケーションの追加

「新規ロケーションの追加」モジュールでは、新しいロケーションを設定・追加 することができます。

モジュールのオープン

- ▶ ロケーション → 前新規ロケーションの追加
- レケーション、設備、ボイラー、炉などの各フォルダ該当ボックスに各種 データを入力 → 保存
- 「ロケーション情報の詳細」モジュールが開きます。20ページ、「5.3.1 ロケー ション情報の詳細」を参照ください。

5.3.4 バーコードの印刷

「バーコードの印刷」モジュールにより、ロケーションIDをバーコードで印刷で きます。これをバーコード・リーダー(製品型番:0554 0461)で読み取ることで、 ロケーションの選択が簡単に行えます。

モジュールのオープン

▶ ロケーション → Ш バーコードの印刷

バーコードの印刷

- バーコード・ラベルとして印刷したいロケーションを選択、クリック オプション:
 - ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
 - ▶選択の取り消し:選択解除
- 2. [社名]入力欄:バーコード上部に入力内容が印刷されます。
- 3. [用紙]、[列数]、[行数]選択欄: ■または ➡ で用紙サイズ、配列を選択。 バーコード・ラベル (製品型番:0554 0411)の場合: A4用紙、2列、6行
- 4. [ラベル枚数] 選択欄: 畫でラベルの印刷枚数を選択。
- 5. ラベルの印刷開始位置を選択: ラベルの図をクリックして指定
- 6. 印刷の開始:印刷

5.4 計測値



計測値メニューには、計測値の検索、計測値の表示などのサブメニューが あります。

5.4.1 計測値の検索

「計測値の検索」モジュールでは、PC内に保存されている計測データを検索 することができます。

モジュールのオープン

- ▶ 計測値 → 酬計測値の検索
- PC内に保存されているすべての計測データが表示されます。特定の ロケーションに関する計測データを表示したい場合は、20ページ、「5.3.1 ロケーション情報の詳細」を参照ください。

計測データの選択

計測データ値が選択されていないと、「計測データの表示」モジュールは開きません。

- ▶ 計測データを選択
- 選択した計測データが反転表示されます。

計測データの表示

- ▶ 計測データを選択 →
 爰表示
- 「計測データの表示」モジュールが開きます。25ページ、「5.4.2 計測データの 表示」を参照ください。

計測データの削除

- ▶ 計測データを選択 → 削除 → はい
- 計測データが削除されます。

計測ロケーションの変更

計測データのロケーションを変更できます。

- 1. 計測データを選択 → ロケーション変更
- 2. 変更先のロケーションを選択 → OK
- 計測データのロケーションが変更されます。

複数の計測データを1つの計測データにまとめることができます。

- 1. 結合させたい計測データを[Ctrl]キーを押しながら選択し、反転表示させます。
- 2. 🔯 結合
- 3. 結合した計測データの保存先ロケーションを選択 → OK
- 選択した複数の計測データが、1つの計測データに結合されます。

計測データのエクスポート(外部保存)/インポート(読込み)

- ▶ エクスポート または インポート → ファイル名の入力 💽 → 保存
- 計測データがエクスポート(外部保存)/インポート(読込み)されます。

Excelファイルとしてエクスポートした場合、以下の情報が各タブ(シート) 内に保存されます。

testo タブ: 計測値

Information タブ: 計測開始時間および終了時間、その他 **Folder タブ**: 顧客名および顧客番号 **Location タブ**: 住所、ロケーション、その他

5.4.2 計測データの表示

「計測データの表示」モジュールでは、計測値の表示や処理が行えます。

- ■「計測データの表示 | モジュールは、「計測値の検索 | モジュールあるいは
- 「ロケーション情報の詳細」モジュールにより計測値が選択されていないと 開きません。23ページの「5.4.1 計測値の検索」、または20ページ「5.3.1 ロケーション情報の詳細」を参照ください。

モジュールのオープン

- ▶ 計測値 → 計測データを表示 「計測データの表示」モジュールは、インフォメーション、グラフ、計測データの 3つのフォルダに分かれています。(グラフ・フォルダはオンライン計測の 計測データを選択した場合のみ表示)
- 5.4.2.1 インフォメーション 計測データに関する情報がインフォメーション・フォルダに表示されます。
 - ▶ 特記事項があれば、備考ボックスに入力します。

計測データの印刷

- ▶ 計測値と測定情報をレポート形式で印刷:印刷
 - ▶ テンプレートを選択 → OK
 - ▶ プリンタ設定 → OK
 - レポートが印刷されます。

印刷プレビューの表示

▶ 計測データの印刷前にプレビューを表示: プレビュー (図)

インフォメーションをPDF形式で保存

- ▶ 計測値をPDF形式で保存: PDFレポート(図)
 PDFレポート → レポート形式を選択 → OK → ファイル名入力(■)
 ファイル形式を選択(■) → 保存
- 5.4.2.2 グラフ

グラフ・フォルダには、計測値(最大16チャネル)がグラフ形式で表示されます。

計測データの印刷

- ▶ 計測値と測定情報をレポート形式で印刷:印刷
 - ▶ テンプレートを選択 → OK
 - ▶ プリンタ設定 → OK
 - レポートが印刷されます。

印刷プレビューの表示

- ▶ 計測データの印刷前にプレビューを表示: プレビュー
 - ▶ テンプレートを選択 → OK
 - レポートのプレビューが表示されます。

計測データをPDF形式で保存

 計測データを PDF形式で保存: PDFレポート(図)

 PDFレポート → ファイル名入力()ファイル形式を選択()→保存

計測データの印刷

- 1. ビットマップを印刷
- 2. プリンタ設定 → OK

グラフを画像ファイルとして保存

- 1. ビットマップを保存
- 2. ファイル名入力 (・) ファイル形式を選択 (・) → 保存

グラフの変更

- 1. 設定
- チャネル: 計測チャネルを選択(・)、凡例: チャネル名を入力
- 3. 設定を保存: OK
- 5.4.2.3 計測データ

計測データ・フォルダには、表またはリスト形式で計測値が表示されます。

オンライン計測の希釈計測値はイタリックで表示されます。

計測データの印刷

- ▶ 計測値と測定情報をレポート形式で印刷:印刷
 - ▶ テンプレートを選択 → OK
 - ▶ プリンタ設定 → OK
 - レポートが印刷されます。

印刷プレビューの表示

- 1. 計測データの印刷前にプレビューを表示: プレビュー
- 2. テンプレートを選択 → OK
 - レポートのプレビューが表示されます。

計測データをPDF形式で保存

▶ 計測値をPDF形式で保存: PDFレポート

Excelファイルとしてエクスポート

- ファイル名を入力()→ ファイル形式を入力()→ 保存
- 計測データがエクスポートされます。

Excelファイルとしてエクスポートした場合、以下の情報が各タブ(シート) 内に保存されます。

testo タブ: 計測値 **Information タブ**: 計測開始時間および終了時間、その他 **Folder タブ**: 顧客名および顧客番号 **Location タブ**: 住所、ロケーション、その他

- ▶ クリップボード
- 計測値が、タブ記号で区切られたテキストファイルとして、PCのクリップ ボードにエクスポートされます。

計測結果の評価

計測結果の平均値、最大/最小値が表示されます。

- ▶ Min/Max/Mean → 表示したい機能を選択 (☑) → OK 計測結果の平均値、最大/最小値をデータ・フィールドに挿入するためには (5.13.1.1を参照)、値を先ず計算させなければなりません。
- 5.4.2.4 データ入力

データ入力・フォルダでは、測定に関連するデータをテンプレートに基づいて 新しい入力フォームに入力したり、既に完了した入力フォームを割り当てたり できます。入力した値は、レポートテンプレートを使用して、測定値、ロケー ション、顧客情報とともに印刷できます。

- データ入力用のサンプルレポートを選択すると、データ入力フォームのサン
 プルが表示されます。そこに記載されているデータ入力に関する情報に注意してください。
- レポート設計モジュールでは、ログに記録されていないデータを入力する
- ためのレポートテンプレートをユーザー設定の要件に合わせて変更したり、 新しい要件を作成したりできます。41ページ、「5.13.1 レポート形式の 設定」を参照ください。

新しいデータ入力フォームの作成

- 1. 測定データを選択 → 🔤 表示
- 「計測値の表示」 モジュールが開きます。 25ページ、 「5.4.2 計測データの 表示」 を参照ください。
- 2. データ入力・フォルダを選択します。
- 3. 新しいデータ入力フォームの作成: 新規
- 4. リストから「新しいフォーム」のテンプレートを選択します
- 5. データを選択し (10) 名前を適用します。
- システム番号が名前として提案されます。必要に応じて変更することもできます。
- 6. 設定を保存 → OK
- テンプレートにデータを入力: チェックボックスをクリック、テキスト・ フィールドをクリックして入力します。
- 8. 入力を保存:保存
- ▶ 入力データの入ったレポート・テンプレートを表示: レポートのプレビュー
- 入力データの入ったレポート・テンプレートをPDFファイルで保存: PDFレポート
 (配) ファイル名を入力
 (●) → ファイル形式を選択(●) → 保存
- 入力データの入ったレポート・テンプレートを印刷: レポート印刷 → プリンタの設定 → OK
- ▶ 完成したデータ入力フォームの削除: 削除 → はい
- ▶ 完成したデータ入力フォームをPDFファイルで保存: PDFとして保存 → ファイル名を入力()→ 保存
- ▶ 完成したデータ入力フォームの印刷:印刷 → プリンタの設定 → OK

計測値に既存のデータ入力フォームを割り当て

複数の計測値に既存のデータ入力フォームを割り当てることができます。

- 1. 計測データを選択 → 🔀 表示 (図)
- 「計測値の表示」 モジュールが開きます。 25ページ、 「5.4.2 計測データの 表示」 を参照ください。
- 2. データ入力・フォルダを選択します。
- 3. 割り当て
- 4. データ入力フォームを選択 → OK
- ▶ 必要に応じデータ入力フォームのデータを編集します。
- 5. 入力を保存: 保存

- ▶ 割り当てたデータの入ったレポート・テンプレートを表示: レポートのプレビュー
- レポート・テンプレートをPDFファイルで保存: PDFレポート (図) ファイル名
 を入力 (●) → ファイル形式を選択 (●) → 保存
- 入力データの入ったレポート・テンプレートを印刷: レポート印刷 → プリンタの設定 → OK
- ▶ 割り当てたデータ入力フォームの削除: 削除 → はい
- ▶ 割り当てたデータ入力フォームをPDFファイルで保存: PDFとして保存
 → ファイル名を入力()→ 保存
- ▶ 割り当てたデータ入力フォームの印刷:印刷 → プリンタの設定 → OK

業務

5.5



業務メニューには、業務の検索、業務の詳細、新規業務の追加などのサブ メニューがあります。業務メニュー/モジュール・グループは表示/非表示の 選択が可能です。(48ページ、「5.13.2.2 プログラム」を参照)

5.5.1 業務の検索

「業務の検索」モジュールでは、PC内に保存されている業務を検索することが できます。

モジュールのオープン

- PC内に保存されているすべての業務が表示されます。

検索ボックスに条件を入力すると、その条件に合致する業務のみが表示
 されます。

業務の選択

- ▶ 業務を選択
- 選択した業務が反転表示されます。

業務の詳細表示

- ▶ 業務の選択 → ビュー
- 「業務の詳細」モジュールが開きます。30ページ、「5.5.2 業務の詳細」を 参照ください。

業務の削除

- ▶ 業務の選択 → 削除 → はい
- 業務が削除されます。

5.5.2 業務の詳細

「業務の詳細」モジュールでは、業務内容の詳細を表示することができます。

業務の詳細モジュールは、業務の検索モジュールで予め業務を選択していないと開きません。29ページ、「5.5.1業務の検索」を参照ください。

モジュールのオープン

▶ 業務 → 臺業務の詳細表示

データ入力

- 1. 業務に適用するデータを選択(100)
- 2. 該当するフィールドに業務データを入力 → 完了

5.5.3 新規業務の追加

「新規業務の追加」モジュールでは、新たな業務を入力することができます。 入力した新規業務は、担当従業員に自動的に割り当てられ、その業務リストに 追加されます。

モジュールのオープン

新規業務の追加モジュールは、従業員の検索モジュールで予め従業員を選択

- していないと開きません。30ページ、「5.6.1 従業員の検索」を参照ください。
- ▶ 業務 → 🖳新規業務

データ入力

- 1. 業務に適用するデータを選択(1)
- 2. 該当するフィールドに業務データを入力 → 完了

5.6 従業員



従業員メニューには、従業員の検索、従業員情報の変更、新規従業員の追加、 業務リストなどのサブメニューがあります。

5.6.1 従業員の検索

「従業員の検索モジュール」では、入力済の全従業員データを表示して、業務 リストの作成/表示の対象となる従業員を選択することができます。

モジュールのオープン

▶ 従業員 → 2000 従業員の検索

従業員の選択

従業員を選択していないと、「従業員情報の変更」と「業務リスト」
 モジュールは開きません。

- ▶ 従業員を選択
- 選択した従業員が反転表示されます。

業務リストの表示

- ▶ 従業員を選択 → 🌇 業務リスト
- 「業務リスト」モジュールが開きます。32ページ、「5.6.4 業務リスト」を参照 ください。

従業員情報の変更

- ▶ 従業員を選択 → 2000 変更
- 「従業員情報の変更」モジュールが開きます。31ページ、「5.6.2 従業員 情報の変更」を参照ください。

従業員の削除

- ▶ 従業員を選択 → 削除 → はい
- 従業員が削除されます。

新規従業員の追加

- ▶ 新規 →
- 「新規従業員の追加」モジュールが開きます。本ページ、「5.6.3 新規従業員 の追加」を参照ください。

5.6.2 従業員情報の変更

「従業員情報の変更」 モジュールでは、既存の従業員情報を変更することが できます。

モジュールのオープン

- ■「従業員情報の変更」モジュールは、「従業員の検索モジュール」で予め
- 従業員を選択していないと開きません。30ページ、「5.6.1 従業員の検索」 を参照ください。
- ▶ 従業員 → 品 従業員情報の変更

データの変更

- 従業員番号は、従業員を新しく追加すると自動的に割り当てられます。この
- 従業員番号は変更できません。
- ▶ 該当する従業員情報項目を変更入力 → 完了

5.6.3 新規従業員の追加

「新規従業員の追加」モジュールでは、従業員を新たに追加することができます。 モジュールのオープン

▶ 従業員 → 🍰 新規従業員の追加

データ入力

従業員番号は後から変更できませんので、正しく割り当てられたか必ず 確認してください。

▶ 該当する従業員情報項目にデータを入力 → 完了

5.6.4 業務リスト

「業務リスト」 モジュールでは、選択されている従業員の業務リストを表示する ことができます。

モジュールのオープン

- 「業務リスト」モジュールは、「従業員の検索モジュール」で予め従業員を
 選択していないと開きません。30ページ、「5.6.1 従業員の検索」を参照ください。
- ▶ 従業員 → 🌄 業務リスト

業務の選別

- ▶ 日付を選択、またはボタンで日付や期間を選択
- 該当する業務が表示されます。

業務データの表示

- 1. リストから業務を選択
- 2. 業務データの表示:表示
- 3. 必要に応じて該当するフィールドの業務データを変更することができます:変更

業務リストをエクセルファイルにエクスポート

- ▶ 業務リストをエクセルファイルにエクスポート:エクスポートするファイル名を 入力(●) → ファイル形式を選択(●) → 保存
- 5.7 testo 312-4 (日本では販売されていません)
- 5.8 testo 314 (日本では販売されていません)

5.9 testo 320



testo 320 メニューが利用できるのは、設定メニューの基本設定サブ メニューで、使用計測器として testo 320 を選択している場合のみです。48 ページ、「5.13.2.1 計測器」を参照ください。

5.9.1 ロケーションの送信

「ロケーションの送信」 モジュールでは、ロケーションを testo 320 に送信で きます。

モジュールのオープン

▶ testo 320 → ■ロケーションの送信

「ロケーションの送信」モジュールは、2つの領域に分かれています。PC内の ロケーション・フォルダが上部に、計測器内のロケーション・フォルダが下部に 配置されています。

5.9.1.1 PC内のロケーション

PC内のロケーション・フォルダには、PC内に保存されているすべてのロケー ションが表示されます。

ロケーションの検索

▶ 検索ボックスに検索条件を入力 → 検索開始:検索

計測器ヘロケーションを転送

オプション:

- ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
- ▶ ロケーション選択の取り消し: 選択を解除
- ▶ ロケーションを選択 () → 転送

ロケーション情報の表示

- ▶ ロケーションを選択 → 表示
- 「ロケーション情報の詳細」モジュールが開きます。20ページ、「5.3.1 ロケーション情報の詳細」を参照ください。

ロケーション情報の変更

- ▶ ロケーションを選択 → 変更
- 「ロケーション情報の変更」モジュールが開きます。22ページ、「5.3.2 ロケーション情報の変更」を参照ください。

5.9.1.2 計測器内のロケーション

計測器内のロケーション・フォルダには、計測器内に保存されているすべての ロケーションが表示されます。

ロケーションの削除

オプション:

- ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
- ▶ ロケーション選択の取り消し: 選択を解除
- ▶ ロケーションを選択 (☑) → 削除

5.9.2 計測データの読込

「計測データの読込」モジュールでは、testo 320 内の計測データをPCへ読み 込み、保存できます。

モジュールのオープン

▶ testo 320 → 記書計測データの読込

計測データの保存

オプション:

- ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
- ▶ ロケーション選択の取り消し: 選択を解除
- ▶ 計測データの選択 () → 読み込み
- 計測器と同じPC内ロケーションに計測データが保存されます。選択した 計測データのロケーションがPC内にないときは、そのロケーションが自動 的に設定されます。

-または-

- ▶ 計測データの選択(図)→指定先へ読み込み→ロケーションの選択→OK
- 計測データがPC内の選択したロケーションに保存されます。

計測データの削除

- 計測データを選択 → 削除 → はい
- 計測データが削除されます。

計測データの詳細

- 計測値をPC内に読み込み済の場合のみ、利用可能です。
- ▶ 計測データを選択(図) → 表示
- 「計測データの表示」モジュールが開きます。25ページの「5.4.2 計測データの表示」を参照ください。

5.9.3 オンライン計測

計測器をPCに接続しているとき、「オンライン計測」モジュールを使って、 排ガスのオンライン計測が行えます。計測データは直接PCに転送され、表示 されます。

モジュールのオープン

5.9.3.1 計測データ、パネルメータ、グラフ、排ガス・マトリックス

オンライン計測の実行

- 計測データ、パネルメータ、グラフ、排ガス・マトリックス: オンライン計測
 では、表示項目設定フォルダにより選択された計測項目および計測単位のみ表示されます。
 排ガス・マトリックス: 排ガス・マトリックスに関連する計測項目が表示されます。
- 1. 計測 (メモリ) 間隔を設定します: (=)
- 2. 計測の開始: スタート
- オンライン計測がスタートします(最初に計測器のゼロ調整が行われる ことがあります)
- 計測値が表示されます:
 - ・計測データ・フォルダ: 全計測チャネルの計測値が計測日時別に表 (リスト)形式で表示されます。
 - ・パネルメータ・フォルダ: 全計測チャネルの全項目が表示されます。
 - ▶ 計測値に代えて平均値、最大値、最小値の表示も可能:()
 - ▶ 表示フィールドのサイズ変更: スライド・コントローラを動かします(□)
- ▶ 常に前面表示の独立したウィンドウに計測値を表示:最小ウィンドウで表示(▼)
 - ・グラフ・フォルダ:時間軸の自動スケーリングが行われ、16の計測チャネル
 (計測可能)がグラフ表示されます。
 - ▶ グラフ特性 (表示チャネル、線種、色、スケーリング等) の設定: プロパティ
 - ▶ グラフをビットマップ・ファイルとして保存: グラフの保存
 ビットマップを保存 → ファイル名入力(・) → ファイル形式を選択
 (・) → 保存)
 - ・ 排ガス・マトリックス・フォルダ: 排ガス・マトリックス中に、現在の計測値 がクロスヘア(十字線: 交点の情報を表示)とともに表示されます。
 - ▶ 表示されている計測項目の変更: O₂/CO または CO₂/CO (
 - ▶ 限界値の設定: 燃料およびシステム・タイプ別に限界値を選択して設定 () または O₂限界値および CO限界値を入力します。
- 4. 計測の終了: ストップ
- オンライン計測が終了します。
 - オプション (計測データ・フォルダに対してのみ有効): 計測値を保存:保存 Microsoft Excelへ計測値をエクスポート:Excelにエクスポート 計測値をクリップボードにコピー (Excelシートに貼付可能):クリップボード

5.9.3.2 表示項目設定

利用できるチャネルが、「セットアップで選択した全チャネル」領域に表示さ れます。ここには計測器のセットアップで設定された計測項目と計測単位が 列挙されます。

オンライン計測でPC上に表示される計測チャネルは、「表示するチャネル」 領域に表示されます。

表示順序の設定

- ▶ 計測チャネルの追加/削除:追加 ->、全て追加 ->、<- 削除 または <- 全て削除</p>
- 表示順序の変更:計測チャネルを選択 → Up または Down

5.9.4 testo 320のセットアップ

「testo 320のセットアップ」 モジュールでは、testo 320のシステム設定を行う ことができます。

モジュールのオープン

▶ testo 320 → ³/₂₀ testo 320のセットアップ

計測器への接続を設定できない場合は、48ページ、「5.13.2.1 計測器」を
 参照ください。

構成データの表示/構成の変更

- ▶ フォルダの選択
- 使用可能な構成データは、計測器メニューの機能説明に対応する名前を 持つ個々のフォルダに表示されます。

5.10 testo 324 (日本では販売されていません)

5.11 testo 300 / testo 330

14	a -	-	12.4				COLUMN S	ana				1.4	-	2
1000	Carl	-	laction	Westman	n And Displayer	107425	SHEP-24	1000	100.04	tarts/330	100310-300	serie	Outers	
0	5	-	1 100	1	Dow-And	201 Delive	Carlas							
100	Guine	6			MID 200		-	3.I						

testo 300 / testo 330 メニューが利用できるのは、設定メニューの基本
 設定サブメニューで、使用計測器として testo 300 / testo 330 を選択している場合のみです。48ページ、「5.13.2.1 計測器」を参照ください。

5.11.1 ロケーションの送信

「ロケーションの送信」モジュールでは、ロケーションをtesto 300 または testo 330に転送することができます。

モジュールのオープン

▶ testo 300 → M ロケーションの送信

-または-

▶ testo 330 → M ロケーションの送信

「ロケーションの送信」モジュールは、2つの領域に分かれています。PC内の ロケーション・フォルダが上部に、計測器内のロケーション・フォルダが下部に 配置されています。

5.11.1.1 PC内のロケーション

PC内のロケーション・フォルダには、PC内に保存されているすべてのロケー ションが表示されます。

ロケーションの検索

▶ 検索ボックスに検索条件を入力 → 検索開始:検索

計測器ヘロケーションを転送

オプション:

- ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
- ▶ ロケーション選択の取り消し: 選択を解除
- ▶ ロケーションを選択 () → 転送

ロケーション情報の表示

- ▶ ロケーションを選択 → 表示
- 「ロケーション情報の詳細」モジュールが開きます。20ページ、「5.3.1 ロケーション情報の詳細」を参照ください。

ロケーション情報の変更

- ▶ ロケーションを選択 → 変更
- 「ロケーション情報の変更」モジュールが開きます。22ページ、「5.3.2 ロケーション情報の変更」を参照ください。
- 5.11.1.2 計測器内のロケーション

計測器内のロケーション・フォルダには、計測器内に保存されているすべての ロケーションが表示されます。

ロケーションの削除

オプション:

- ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
- ▶ ロケーション選択の取り消し: 選択を解除
- ▶ ロケーションを選択 (図) → 削除

5.11.2 計測データの読込

「計測データの読込」 モジュールでは、testo 300 または testo 330 内の計測値 をPCへ読み込み、保存できます。

モジュールのオープン

▶ testo 300 → NP ロケーションの送信

-または-

▶ testo 330 → 🔛 ロケーションの送信

計測データの保存

オプション:

- ▶ すべてのロケーションを選択: 全て選択
- ▶ ロケーション選択の取り消し: 選択を解除
- ▶ 計測データの選択(図) → 読み込み
- 計測器と同じPC内ロケーションに計測データが保存されます。選択した 計測値のロケーションがPC内にないときは、そのロケーションが自動的に 設定されます。
- testo 300について
- testo 300に顧客/システム番号が割り当てられていない場合、Easy Heatに よって自動的に作成され、計測器と同期されます。

-または-

- ▶ 計測データの選択 (図) → 指定先へ読み込み → ロケーションの選択 → OK
- 計測データがPC内の選択したロケーションに保存されます。

計測データの削除

- ▶ 計測データを選択 → 削除 → はい
- 計測データが削除されます。

計測データの詳細

計測値をPC内に読み込み済の場合のみ、利用可能です。

- ▶ 計測データを選択(図) → 詳細
- 「計測データの表示」モジュールが開きます。25ページの「5.4.2 計測データの表示」を参照ください。

5.11.3 オンライン計測

計測器をPCに接続しているとき、「オンライン計測」 モジュールを使って、排ガスのオンライン計測が行えます。計測データは直接PCに転送され、表示されます。

モジュールのオープン

▶ testo 300 → 🔛 オンライン計測

-または-

▶ testo 330 → 📲 オンライン計測

5.11.3.1 計測データ、パネルメータ、グラフ、排ガス・マトリックス

オンライン計測の実行

- 排ガス・マトリックス・フォルダが使用できるのは、testo 330 (製品型番:
- 0632 3306 または 0632 3307) のみです。型番プレートで確認してください。
- 計測データ、パネルメータ、グラフ、排ガス・マトリックス: オンライン計測
- では、表示項目設定フォルダにより選択された計測項目および計測単位のみ表示されます。
 排ガス・マトリックス:排ガス・マトリックスに関連する計測項目が表示されます。
- 1. 計測 (メモリ) 間隔を設定します: (一)
- 2. 計測タイプを設定します: (・)
- 3. 計測の開始: スタート
- オンライン計測がスタートします(最初に計測器のゼロ調整が行われる ことがあります)
- 計測値が表示されます:
 - ・計測データ・フォルダ:全計測チャネルの計測値が計測日時別に表
 (リスト)形式で表示されます。
 - ・パネルメータ・フォルダ: 全計測チャネルの全項目が表示されます。
 - ▶ 計測値を手操作で保存(計測間隔を0秒に設定しているとき可能):保存
 - ▶ 計測値に代えて平均値、最大値、最小値の表示も可能:(●)
 - ▶ 表示フィールドのサイズ変更: スライド・コントローラを動かします ()
 - ▶ 常に前面表示の独立したウィンドウに計測値を表示: 最小ウィンドウで 表示(■)
 - ・グラフ・フォルダ:時間軸の自動スケーリングが行われ、16の計測チャネル (計測可能)がグラフ表示されます。
 - ▶ グラフ特性 (表示チャネル、線種、色、スケーリング等) の設定: プロパティ
 - ▶ グラフをビットマップ・ファイルとして保存: グラフの保存
 ビットマップを保存 → ファイル名入力(●) → ファイル形式を選択
 (●/ → 保存)

- ・排ガス・マトリックス・フォルダ: 排ガス・マトリックス中に、現在の計測値 がクロスヘア(十字線: 交点の情報を表示)とともに表示されます。
- ▶ 表示されている計測項目の変更: O₂/CO または CO₂/CO ()
- ▶ 限界値の設定: 燃料およびシステム・タイプ別に限界値を選択して設定 () または O₂限界値および CO限界値を入力します。
- 4. 計測の終了: ストップ
- オンライン計測が終了します。
 オプション(計測データ・フォルダに対してのみ有効):
 - ▶ 計測値を保存:保存
 - ▶ Microsoft Excelへ計測値をエクスポート: Excelにエクスポート
 - ▶ 計測値をクリップボードにコピー (Excelシートに貼付可能): クリップボード

5.11.3.2 表示項目設定

利用できるチャネルが、「セットアップで選択した全チャネル」領域に表示さ れます。ここには計測器のセットアップで設定された計測項目と計測単位が 列挙されます。

オンライン計測でPC上に表示される計測チャネルは、「表示するチャネル」 領域に表示されます。

表示順序の設定

- ▶ 計測チャネルの追加/削除:追加 ->、全て追加 ->、<- 削除 または <- 全て削除</p>
- 表示順序の変更:計測チャネルを選択 → Up または Down

5.11.4 testo 300 / testo 330のセットアップ

「testo 330のセットアップ」モジュール、または「testo 300のセットアップ」モ ジュールでは、testo 330またはtesto 300のシステム設定を行うことができます。

モジュールのオープン

- ▶ testo 300 → 🐝 testo 300のセットアップ
- -または-
- ▶ testo 330 → ³/₂ testo 330のセットアップ

計測器への接続を設定できない場合は、48ページ、「5.13.2.1 計測器」を
 参照ください。

構成データの表示/構成の変更

- ▶ フォルダの選択
- 使用可能な構成データは、計測器メニューの機能説明に対応する名前を 持つ個々のフォルダに表示されます。

5.12 testo 380 (日本では販売されていません)

5.13 設定



設定メニューには、レポート形式の設定、基本設定、インフォメーション等の モジュールがあります。

5.13.1 レポート形式の設定

「レポート形式の設定」 モジュールにより、計測値の印刷書式 (フォーム) を 設定、変更することができます。

5.13.1.1 印刷用レポート形式

モジュールのオープン

- 1. 設定 → 🜉レポート形式 → 印刷用レポート形式 (💽)
- 設定可能なレポート・テンプレートが表示されます。
- 計測方式が表示されていないとき、計測データは標準のレイアウトで印刷されます。
- 計測方式に合わせてレポート・テンプレートを新たに作成することもできます。

新規レポート形式の作成

▶ 新規レポート形式を作成:新規 → テンプレート名を入力 → OK → 新しい レポート形式が作成されます。

レポート形式の変更

レポート形式を選択: OK → レポート形式が変更されます。

レポート形式のコピー

レポート形式を選択: コピー → 新しいテンプレート名を入力 → OK →
 レポート形式が追加されます。

レポート形式の削除

- システムで必要とされるレポート形式は削除できません。
- i
- レポート形式を選択: 削除 → はい → リストからレポート形式が削除されます。

レポート形式名の変更

レポート形式を選択:名前を変更 → 新しいテンプレート名を入力 → OK 「レポート形式の設定」モジュールは、2つの領域に分けられています。左側に、 フィールド、フォント、罫線、ページの作業領域があり、右側に編集、プレ ビューの表示領域があります。

フィールド、フォント、罫線、ページ

フォームボックスのボックス・プロパティ (フィールドタイプ、フォント、マージン)および ページ・プロパティはタブで変更することができます。

表示されているボックス、フォント、マージン等のプロパティは、編集フォルダ (同じモジュール)で選択されているフォームボックスに対して有効です。

ボックスタイプの設定

- ▶ フィールドでボックスタイプを選択(●)
 - ・テキスト・フィールド: ボックスにテキストが入力されます。
 - ・データ・フィールド:データベースに保存されているデータ(計測値、顧客 またはシステム・データ)を選択し、ボックスに入力することができます。
 あるいは、データ入力フォームで入力されたデータを読み込むことができます。
 - ▶ データ・ボックス内のデータを選択(▼)
 - ・画像: 選択した画像がボックスに入力されます。
 - ▶画像の選択: ファイル ... → ファイルを選択 → 開く
 - ・画像: 選択した画像がボックスに入力されます。

ロゴ: 設定 - 基本設定 - 所有者情報 で予め保存したロゴを選択し入力 することができます。

- ・ グラフ (計測値): 計測データを画像形式でフィールド・ボックスに入力 することができます。
- ・テーブル(計測値): 計測データを表(リスト)形式でフィールド・ボックス に入力することができます。
 印刷範囲をマークすることで、どの範囲を印刷するか選択することが できます。
- ▶ 印刷範囲の選択(): 印刷範囲を指定、またはすべての表(リスト)を 印刷
- ▶ 印刷する表の範囲を選択(): 個々の領域を選択、またはすべての表 (リスト)を印刷
- ▶ 印刷するデータの選択 (): 印刷するデータを選択

フォント

- この機能はテキスト・フィールドまたはデータ・フィールドが選択されている ときに有効です。
- ▶ フォント・フォルダでフォントを選択(で): ・標準フォント:ページ・フォルダで設定した標準フォントが使用されます。
 - ・フォントを指定:標準フォント以外のフォントが使用できます。

- ▶ フォントの選択: フォント ... → 選択 → OK
 - ・バーコード: バーコード・フォントが使用できます。
 - ・チェックボックス: データ入力フォームから転送したチェックボックスを
 表示できます (フォントなしで値0または1のみ表します)。
- ▶ 配置ボックスでフォントの配置方式を選択()

罫線

▶ 罫線フォルダでフィールド・ボックス上下左右の罫線を選択(●図)

ページ

ページフォルダでページ設定 (ページ数、幅、高さ、グリッド・サイズ、ズーム) と 標準フォントを変更できます。

- ページプロパティを入力して設定(一)
- ▶ 標準フォントを選択: デフォルトフォント ... → 選択 → OK

編集

編集画面では、フィールドボックスの挿入、サイズ変更、削除などができます。

新規フィールドボックスの挿入

フィールドの空き領域上で、新規フィールドボックスの起点を選択
 (図 マウス・キーを押しながら) → 必要な大きさまでボックスをドラッグ
 →キーを放して確定(図)

フィールドボックスの移動

フィールドボックスを選択(図マウス・キーを押しながら)→フィールドボックスを移動→キーを放して確定(図)

フィールドボックスの削除

▶ フィールドボックスを選択(図) → キーボードの削除[Del] キーを押す。

プレビュー

プレビュー・フォルダにより、レポート形式のプレビューを表示することができます。

レポート形式の保存

- ▶ 保存
- 保存されたレポート形式は、選択した計測方式の計測データを印刷すると きに使用されます。

レポートをテンプレートとして保存

- ▶ …として保存 → レポート名入力 → OK
- レポートは保存され、必要なときに読み出すことができます。

レポートの読み出し

- ▶ 読み出し... → レポート名を選択 → OK
- レポートが読み出されます。

レポートのプリントアウト

- ▶ プリント
- レポートがプレビューフォルダに表示されたとおり、印刷されます。

入力を元に戻す

- ▶ 元に戻す
- マウスをクリックすると、直前の作業が削除され、元に戻ります。

5.13.1.2 データ入力用レポート形式

モジュールのオープン

- 1. 設定 → 🧱 レポート形式 → データ入力用レポート形式 (💽)
- 設定可能なレポート・テンプレートが表示されます。

新規レポート形式の作成

▶ 新規レポート形式を作成:新規 → テンプレート名を作成 → OK → 新しい レポート形式が作成されます。

レポート形式の変更

レポート形式を選択: OK → レポート形式が変更されます。

レポート形式のコピー

レポート形式を選択: コピー → 新しいテンプレート名を入力 → OK → レポート形式が追加されます。

レポート形式の削除

レポート形式を選択: 削除 → はい → リストからレポート形式が削除されます。

レポート形式名を変更

レポート形式を選択:名前を変更 → 新しいテンプレート名を入力 → OK 「レポート形式の設定」モジュールは、2つの領域に分けられています。左側に、 フィールド、フォント、罫線、ページの作業領域があり、右側に編集、プレ ビューの表示領域があります。

フィールド、フォント、罫線、ページ

フォームボックスのボックス・プロパティ(フィールドタイプ、フォント、マージン)および ページ・プロパティはタブで変更することができます。 表示されているボックス、フォント、罫線等のプロパティは、編集フォルダ (同じモジュール)で選択されているフォームボックスに対して有効です。

フィールドタイプの設定

- フィールドでボックスタイプを選択(
 - ・テキスト・フィールド: レポートフィールドにテキストが入力されます。
 - ・画像: レポートフィールドに選択した画像が挿入されます。
 - ▶画像の選択: ファイル ... → ファイルを選択 → 開く
 - ・ロゴ: 設定-基本設定-所有者情報で予め保存したロゴが挿入されます。
 - ・エントリー・フィールド:入力フィールドのプロパティを指定できます。

	Field First Baster Repr
	© Text Bala
	0.040%0
	(i) Logo
	· Ray fea
	(ő Gezelen
	0.6760
	Press add an stortfile for the field
1 -	-
30	Hint where entering data
2 -	-
	Proceedant type of Bold
3 -	al darades. *
4 -	C has to be filled in
5 -	I rigs het /Rollsving field // checked
6 -	-
7 -	Meinen
	Valente
	Transmont tecopiet

▶ プロパティの適用 → 保存

- 1 エントリー・フィールド名
- 2 レポート記入中に表示される追加情報の 情報テキスト
- 3 入力するデータが対応する必要がある データ・タイプの選択リスト
- 4 チェックボックス
- 5 チェックボックス
- 6 チェックボックス名 (5が選択された 場合のみ)
- 7 番号範囲の制限(3で数字または番号が 選択された場合のみ)

・チェックボックス:チェックボックスのプロパティを指定できます。

▶ プロパティの適用 → 保存。

フォントの設定

- この機能はテキスト・フィールドまたはデータ・フィールドが選択されているときに有効です。
- > フォント・フォルダでフォントを選択(で):
 ・標準フォント:ページ・フォルダで設定した標準フォントが使用されます。
 ・フォントを指定:標準フォント以外のフォントが使用できます。
- フォントの選択: フォント ... → 選択 → OK
 ・バーコード: バーコード・フォントが使用できます。
- ▶ 配置ボックスで、フォントの配置方式を選択(▼)
- ▶ カラーボックスで、フォントの色を選択(プレビュータブで表示している時)
- ▶ 背景色ボックスで、背景色を選択

罫線の設定

▶ 罫線で、レポート・フィールドの罫線プロパティを選択(▼)

ページの設定

ページ・フォルダで、レポートのページ・プロパティと標準フォントを変更する ことができます。

- ▶ 入力またはページ・プロパティの設定 (書)
- ▶ 標準フォントを選択:標準フォント ... → 選択 → OK

編集

編集画面では、フィールドボックスの挿入、サイズ変更、削除などができます。

新規フィールドボックスの挿入

フィールドの空き領域上で、新規フィールドボックスの起点を選択
 (図 マウス・キーを押しながら) → 必要な大きさまでボックスをドラッグ
 →キーを放して確定(図)

フィールドボックスの移動

 フィールドボックスを選択(図マウス・キーを押しながら)→フィールドボック スを移動→キーを放して確定(図)

フィールドボックスの削除

▶ フィールドボックスを選択(図) → キーボードの削除 [Del] キーを押す。

レポート形式の保存

- ▶ 保存
- 保存されたレポート形式は、選択した計測方式の計測データを印刷すると きに使用されます。

保存されたレポートは計測値→ 計測データの表示→ データ入力、入力でき るようになります。そのフィールドは印刷用テンプレートに統合できます。

レポートの印刷

- ▶ 保存
- レポートは、プレビューフォルダに表示されたとおり、印刷されます。

入力を元に戻す

- ▶ 元に戻す
- マウスをクリックすると、直前の作業ステップが取り消されます。

プレビュー

プレビュー・フォルダにより、レポート形式のプレビューを表示することができます。

48 5.メニュー(共通)

5.13.2 基本設定

モジュールのオープン

- 5.13.2.1 計測器

計測器フォルダから、本ソフトウェアがサポートする計測器を選択します。

▶ サポートする計測器を選択:(♥) testo 330 または testo 320 の場合は、使用するインタフェースの選択も行い ます。使用インタフェースを選択(●)

5.13.2.2 プログラム

プログラムフォルダから、ユーザー設定のプログラムを実行することができます。

▶ Pocket PC と同期: (▼)

業務管理

- ▶ 業務管理: (□)
- 5.13.2.3 顧客ID設定

顧客ID、ロケーションIDの入力、設定ができます。

- ▶ 必要な項目の選択()
- 5.13.2.4 所有者情報 所有者情報フォルダから、名前/社名、住所データ等の情報を入力できます。
 - ▶ 所有者情報 → 住所データ等の入力/変更
- 5.13.2.5 カラー・スキーム カラー・スキームタブで、スクリーンの表示色を選択できます。
 - ▶ お好みの基調色を選択()
- 5.13.2.6 ソフトウェア更新

ソフトウェアのバージョンアップを定期的に自動で確認することができます。

- 📱 ソフトウェアの更新を自動でチェック: 🔽
- 定期的に自動確認を行うには、インターネット接続が必要です。

5.13.2.7 使用言語

言語フォルダで、使用言語を選択できます。

- ▶ オペレーティングシステムの地域設定で選択された言語を使用する: (●)
- ▶ ユーザーの選択した言語: (●)

5.13.2.8 バックアップ

バックアップフォルダでは、データ・バックアップの設定を行うことができます。
ハードディスクの故障などに備える場合は、バックアップ用ファイル保存先を
ハードディスク以外の媒体に指定してください。

バックアップ・ファイルのディレクトリの選択

▶ 参照 → ディレクトリを選択 → OK

バックアップ方法の決定

- ▶ フルバックアップ () → 必要なフルバックアップの期間を選択
- ▶ 追加バックアップ ()) → 必要な追加バックアップの期間を選択
- ▶ オンライン計測の計測データをバックアップ: (▼)

5.13.3 インフォメーション

「インフォメーション」モジュールには4つのフォルダがあり、テストー社への お問い合わせや故障診断の際に必要となる情報、お使いのPCやソフトウェアに 関する情報が表示されます。

モジュールのオープン

▶ 設定 → 🧏 インフォメーション

5.14 データベース



5.14.1 フルバックアップ

バックアップ・データをハードディスクに保存します。
1. データのフルバックアップ: データベース → ■フルバックアップ
2. インフォメーション3010の確認: OK
フルバックアップには、数十秒程度時間がかかります。

5.14.2 追加バックアップ

フルバックアップ後の変更箇所を追加保存します。

- 1. 最後のバックアップ後の変更を保存: データベース → 📠 追加バックアップ
- 2. インフォメーション3009の確認: OK

5.14.3 データベースの復元

バックアップ・ポイントヘデータベースを復元することができます。

- 1. データベース復元ポイントのオープン: データベース → ■データベースの復元
- 2. データの復元: 復元ポイントの選択 → OK
- 3. インフォメーション3013の確認: OK

5.14.4 修復と圧縮

システム・クラッシュあるいは停電により発生したデータベースの障害を修復 できます。

▶ データベース障害の修復:データベース → 🖑 修復と圧縮

6. トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因	対策
ソフトウェアのアンインストール	, ,	・Windows のアンインストール機能を 使用してください。

ここに記述されていない問題が発生した場合は、お買上げの販売店またはテストーサービス センターへご連絡ください。



株式会社 テストー

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- ●サービスセンター(修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-393-1863
- ヘルプデスク TEL.045-476-2547

ホームページ https://www.testo.com e-mail info@testo.co.jp